

自分が住んでいる地域には、どのようなハザード・防災マップがあるのでしょうか。
また、ハザードマップを生かして、どのように災害に備えておけばよいのでしょうか。

知ろう おこ

ハザードマップとは、どのようなものなのでしょうか。

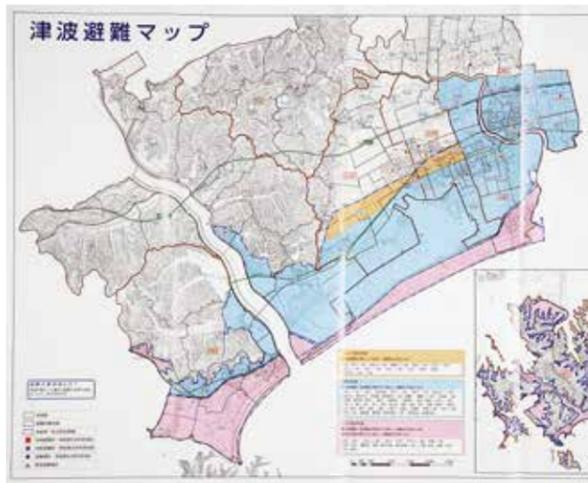
ハザードマップとは、これまでに起こった災害や土地の状況などをもとに、予測される被害の範囲などを地図に表したものです。災害の種類によって、さまざまなハザードマップが作成されています。

主なハザードマップ

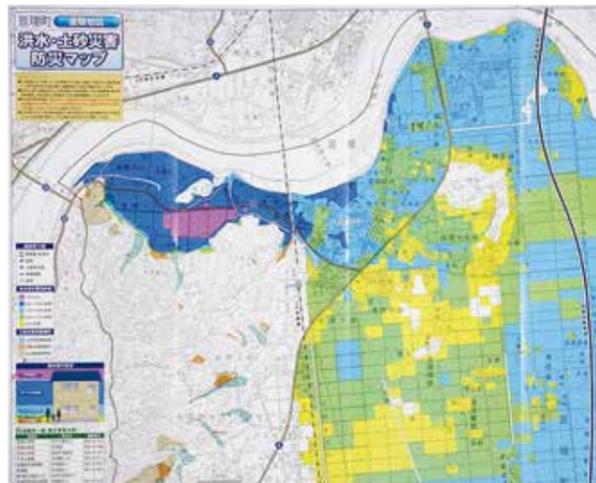
1	洪水	主に河川の氾濫により浸水する地域
2	土砂災害	土石流やがけ崩れなどの危険地域
3	地震	液状化現象の発生範囲、大規模火災などの地域
4	津波・高潮	津波の浸水地域や高潮のときの通行止めなどの地域
5	火山	火口が現われるところや溶岩が流れたり、火山灰が降ったりする地域

調べよう

自分が住んでいる地域のハザード・防災マップには、どんなものがあるか調べてみましょう。



東松島市 津波避難マップ



亘理町 洪水・土砂災害防災マップ

くつろぎ みよう

「わたしたちのハザード・防災マップ」

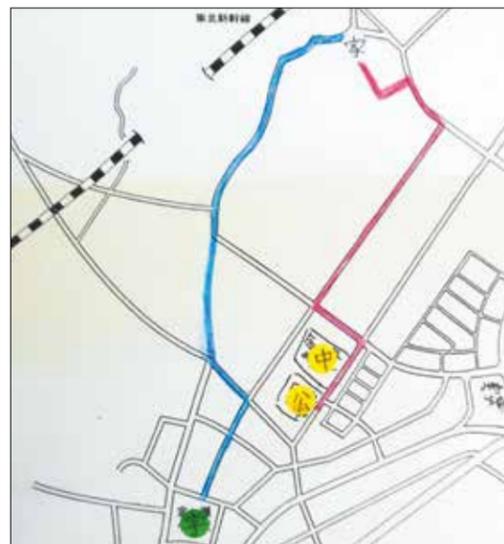
市町村がつくっているハザード・防災マップを活用して、自分の住む地域にどのような災害が予想されているかを知り、安全な避難場所や避難経路を確認しておきましょう。

わたしたちのハザード・防災マップ



学習の流れ

- ①自分が住んでいる地域にどのようなハザード・防災マップがあるかを知る。
- ②学習するハザード・防災マップ（例・洪水・土砂災害）にはどのようなことが書かれ、どのような地域に危険があるかを知る。
- ③ハザード・防災マップを参考にして白地図に自分の家や学校、避難場所に色分けしたシールをはる。
例・自分の家（白色のシールに名前記入）
・学校（緑色のシール）
・避難場所（黄色のシール）
- ④ハザード・防災マップを参考にして白地図に自宅からの避難経路を赤ペンで書く。
- ⑤ハザード・防災マップを参考にして白地図に登校中の避難経路を青ペンで書く。
- ⑥想定をこえる場合に備えて、複数の避難経路を書く。
- ⑦学習を通して学んだことを発表する。



作った「わたしたちのハザード・防災マップ」をもとに、実際に歩き、避難経路や避難場所を確認してみましょう。

災害の種類によって、避難場所や避難経路もちがってくることもあるね。



広げよう

地域のハザードマップ、「重ねるハザードマップ（国土交通省）」を使って、家族みんなで安全な避難について話し合みましょう。

ハザード・防災マップの想定をこえる災害になることもあるので、より安全な場所に避難できるようにしておくことが大切です。